

## 「教科志向型」JSLカリキュラムについて

前号では、「日本語と教科の統合学習」の考え方に基づいて開発された「JSLカリキュラム」の二つのタイプのうち、「トピック型」JSLカリキュラムについて紹介されていましたね。もう一つの「教科志向型」についても詳しく知りたいのですが・・・



それでは今回は、「教科志向型」JSLカリキュラムについて確認しましょう。

「教科志向型」JSLカリキュラムは、各教科の学習活動に日本語で参加する力の育成を目指すもので、「各教科特有の学び方を、具体物や直接体験で習得していく」、「学習過程において学習支援と日本語支援を行う」という特徴があります。

### 目標の設定について

「教科志向型」JSLカリキュラムでは、「教科の目標」と「日本語の目標」を設定します。目標を設定するためには、在籍学級の授業を分析し、その単元で付けたい教科の力や、授業参加に必要な力を把握しておくことが大切です。「教科の目標」も「日本語の目標」も子供の実態に合わせて決定しましょう。

### ■実践例（理科）小学校第3学年 単元名「こん虫をしらべよう」

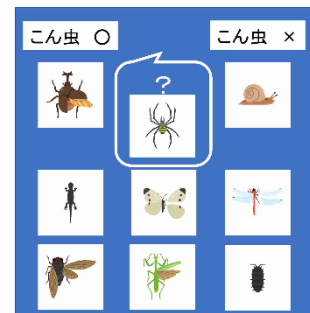
#### ■目標

【教科の目標】 昆虫の体を比較しながら調べ、昆虫の特徴を理解する。

【日本語の目標】 「こん虫・からだ・はら・むね」を使って、「こん虫さがそうゲーム」の結果や昆虫の特徴を、発表することができる。

#### ■活動展開

1	①いろいろな虫の体を調べ、特徴別に分類する。
2	②昆虫の特徴を確認する。 ③「こん虫さがそうゲーム」をしながらやりとりをする。
3	④昆虫の特徴をまとめ、発表する。



#### ■支援の工夫

○絵カードや語彙カード等を用いながら、いろいろな虫の体を調べて比較し、昆虫の特徴をとらえさせる。(例) 絵カードを「こん虫」か「こん虫」ではないかに分類していく。

○「こん虫をさがそうゲーム」では、昆虫の体の構造に着目させるように、問いかける。また、目標とする表現を繰り返し聞かせ、言わせて運用できるようにする。

○発表のモデルを準備し、そのパターンを用いて、自分の考えを理由と判断で構成して発表できるようにする。

#### <発表のモデル>

A ( ) は、こん虫ですか。

はい、( ) は、こん虫です。

いいえ、( ) は、こん虫ではありません。

B ( ) は、足が( ) 本です。だから、こん虫です。

( ) は、あたま、むね、はらからできています。だから、( ) 。

